

第 2 次久喜市総合振興計画 基本構想  
(検討原案)

《将来人口シミュレーション結果一覧》

参考資料

## 将来人口の設定について

※令和 14（2032）年の目標人口を設定し、説明を掲載します。

なお、将来人口の設定にあたっては、現在の住基人口をベースに出生率や純移動率などを踏まえ、複数のパターンにより人口シミュレーションとして推計しています。

以下に、将来人口シミュレーション結果一覧を参考に提示します。

### （1）人口推計（シミュレーション）にあたって

基準人口を 2020 年住民基本台帳人口とし、現状のまま推移した場合の「ベース推計」（※コーホート要因法を用い、5 歳階級・5 年刻みの推計を 2070 年まで）を実施し、将来人口シミュレーションは、ベース推計を基礎としながら、一定の出生率向上と転出抑制・転入促進が実現された場合を想定し、複数のパターンによりシミュレーションを実施しています。

仮定値等	推計パターンと考え方
基準人口	総務省「2020 年住民基本台帳年齢階級別人口（市区町村別）」久喜市
生残率 0～4 歳性比	社人研『日本の地域別将来推計人口』（平成 30（2018）年推計）久喜市 ※全ての推計パターンに共通して採用。
純移動率	総務省「2020 年住民基本台帳年齢階級別人口（市区町村別）」久喜市及び同 2015 年から、 <u>2015→20 年の純移動率実績を算出・・・ア</u>  <u>パターン A 現状維持</u> ：アの傾向が今後も続くものと想定。 <u>パターン B 転出抑制</u> ：アのうち、現状では転出超過となっている 20～34 歳に着目し、この転出超過が 2040 年に解消される（純移動率がゼロとなる）と想定。 <u>パターン C 転入促進</u> ：アのうち、現状では転入超過となっている 0～19 歳、及び 35～49 歳に着目し、この転入超過が 2040 年に 10%伸びる（純移動率+10%となる）と想定。 <u>パターン D 転出抑制・転入促進</u> ：パターン B とパターン C の双方が、2040 年に実現されると想定。
合計特殊出生率	埼玉県「埼玉県の合計特殊出生率」久喜市から、 <u>2015→19 年の 5 カ年実績値の平均値（1.12760）を算出・・・イ</u>  <u>パターン A 現状維持</u> ：イの値が今後も続くものと想定。 <u>パターン B 堅実上昇</u> ：イの値が、2060 年に 1.80 まで上昇するものと想定。 <u>パターン C 積極上昇</u> ：イの値が、2040 年に 1.80、2060 年に 2.07 まで上昇するものと想定。 <u>パターン D 超積極上昇</u> ：イの値が、2040 年に 2.07 まで上昇するものと想定。

図表 将来人口シミュレーション結果（No.1はベース推計）

単位：人

No.	推計パターン		2020年 実績値	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年	2065年	2070年
	出生	移動											
1	A 現状維持	A 現状維持	153,066	150,729	147,062	142,400	137,193	131,868	126,171	119,991	113,310	106,440	99,669
2	A 現状維持	B 転出抑制	153,066	150,890	147,510	143,241	138,513	133,926	128,901	123,376	117,342	111,089	104,891
3	A 現状維持	C 転入促進	153,066	150,747	147,113	142,496	137,346	132,086	126,453	120,334	113,710	106,892	100,168
4	A 現状維持	D 転出抑制・転入促進	153,066	150,908	147,561	143,338	138,668	134,150	129,194	123,738	117,769	111,579	105,439
5	B 堅実上昇	A 現状維持	153,066	150,992	147,830	143,883	139,583	135,348	130,898	126,106	120,972	115,831	110,975
6	B 堅実上昇	B 転出抑制	153,066	151,154	148,284	144,744	140,951	137,508	133,838	129,871	125,618	121,402	117,498
7	B 堅実上昇	C 転入促進	153,066	151,010	147,881	143,983	139,744	135,586	131,214	126,503	121,450	116,393	111,625
8	B 堅実上昇	D 転出抑制・転入促進	153,066	151,172	148,336	144,844	141,115	137,753	134,167	130,290	126,130	122,012	118,213
9	C 積極上昇	A 現状維持	153,066	151,202	148,443	145,070	141,503	138,171	134,622	130,748	126,591	122,513	118,670
10	C 積極上昇	B 転出抑制	153,066	151,365	148,902	145,946	142,909	140,414	137,722	134,787	131,667	128,716	126,056
11	C 積極上昇	C 転入促進	153,066	151,221	148,496	145,173	141,672	138,426	134,967	131,187	127,129	123,156	119,424
12	C 積極上昇	D 転出抑制・転入促進	153,066	151,383	148,955	146,050	143,081	140,675	138,080	135,250	132,242	129,414	126,886
13	D 超積極上昇	A 現状維持	153,066	151,393	148,998	146,142	143,244	140,752	137,906	134,621	130,982	127,346	123,997
14	D 超積極上昇	B 転出抑制	153,066	151,556	149,461	147,033	144,685	143,069	141,141	138,876	136,375	133,985	131,977
15	D 超積極上昇	C 転入促進	153,066	151,411	149,051	146,247	143,420	141,021	138,276	135,096	131,568	128,049	124,823
16	D 超積極上昇	D 転出抑制・転入促進	153,066	151,574	149,514	147,139	144,864	143,345	141,525	139,377	137,001	134,748	132,887

- 前ページのとおり、純移動率及び合計特殊出生率を変化させ、16通りのシミュレーションを実施しました。
- 基本構想（検討原案）では、今後、本市においても様々な施策に取り組み、移住・定住の促進や子育て支援の充実などを通じて一定規模の人口を維持していくことを目標に、目標人口の設定にはパターンNo.8（出生率：堅実上昇、純移動率：転出抑制・転入促進）を選択し、令和14（2032）年の目標人口を148,000人と設定しています。

（2）将来人口シミュレーション結果一覧